

京都市こどもの感染症

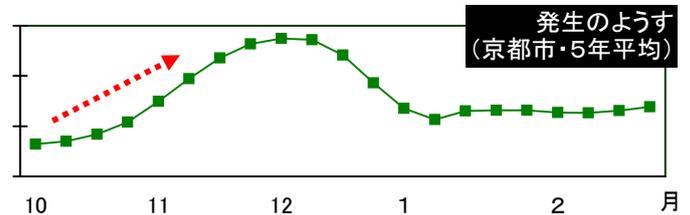


★☆☆ 去年の今ごろ、京都市で多かった感染症

1 位	2 位	3 位
感染性胃腸炎	水ぼうそう（水とう）	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
発熱、下痢、おう吐などが主な症状です。下痢やおう吐が続くと脱水症になりやすいので、水分補給をこまめに行いましょう。	伝染力が強く、肺炎・脳炎・髄膜炎などの合併症を併発することもあります。予防接種（1歳以上、1回接種）は任意ですが、集団生活をする場合は接種されることをおすすめします。感染したら、すべての発しんがかさぶたになってから登校（園）しましょう。	のどの痛みと発熱で始まり、赤い発しんが全身に広がります。3～4日すると、舌がいちごのように赤くなってぶつぶつになるいちご舌と呼ばれる症状が特徴で、4～5歳での感染が多くなっています。

★☆☆ 秋冬の胃腸炎の主演！ ノロウイルス

感染性胃腸炎で、特に「ノロウイルス」によるものは、例年10月ごろから増加が始まり、冬季にピークを迎えます。



★ 京都市の感染性胃腸炎の患者数の週推移→

ノロウイルスの感染予防のために

● 食品からの感染への対策



- ◆ カキなどの二枚貝は、**十分加熱**しましょう。（中心温度85℃以上で1分間以上）「加熱加工用」カキは、生食することを想定した処理をしていませんので、絶対に生食しないでください。
- ◆ 調理者は、トイレの後や調理前に、**石けんと流水で十分に手を洗いましょう。**
- ◆ 調理器具等の消毒には、洗剤等による十分な洗浄の後、**塩素系漂白剤**でひたすようにふくか、1分間以上の**熱湯**（85℃以上）消毒が効果的です。ノロウイルスには、消毒用アルコールなどはあまり効果がありません。

● ヒトからの感染への対策

- ◆ 患者（児）の「便」や「おう吐物」は、マスクや使い捨て手袋をして、塩素系漂白剤にひたしたペーパータオル等でふき取り、ビニール袋に入れて処分しましょう。室内は換気して、床やカーペット等も消毒しておきましょう。
- ◆ 回復しても便には2週間以上ウイルスの排出が続くことがあるので、トイレの後、**石けんと流水で必ず手洗い**を行ってください。



● 塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウムを含むもの）について

直接手でさわらない、他の洗剤と混ぜない、決められた濃度で使用する等、「使用上の注意」をよく読んで使ってください。

◆ 気になる症状があるときは、かかりつけの医療機関に相談しましょう！